

昭和十三年三月一日
至同日
世一

陣中日誌

歩兵第四聯隊

0721

二月一日 豊雨	於青島	日々命令
一 午後四時第二大隊ニ對シテ無線電ヲ以テ尤記通報 ヲセリ	平度附近ノ掃蕩ハ南方ノ鎮慮多ク一旦輸送 機関無キヲ以テ機ヲ見テ要實施セントス貴隊ハ 匪賊集合ノ情報蒐集ニ努メラレ度シ	二 陣中美談ヲ師團司令部ニ提ス 三 日々命令 警備報告並ニ情報記録尤知シ
命令	一 歩兵准尉	吉岡 榮
一 任歩兵少尉 敘正八位	一 歩兵中尉	中村 勇
一 任歩兵大尉 敘正七位	一 歩兵少尉	下月三十一日付 架和定男
同		宮地 正

0722

步兵少尉

小林忠三

任步兵中尉敘從二位

一 步兵准尉

山本平三

任步兵少尉敘正八位

(以上二員同日附)

一 步兵大尉

水野南一

任步兵少尉敘從六位

(同日附)

警備報告

一 警備ニ関シ東地區警備司令官ニ對シテ記知

ク報告ス

警備第三九號

敵警備報告

一 二月二十七日平度ヲ襲撃セシ約三百ノ敵ハ午

前五時頃南門方向ヨリ中村隊ノ一部攻撃

セシタノ敵ハ東方及北方ニ退却ス

情報記録
一 情報記録ニ知シ

0723

情報第五號

情報記録

三月一日午後二時
於青島田部隊不詳

一 平度方面の情報

三月二十七日平度ヲ襲撃セリ約三〇〇敵ハ午
前五時頃南門方向ヨリ中村隊ノ一部攻撃セリタノ
東方及北方ニ退却ス

二 鹽村附近の情報

三月二十四日夜十時頃土匪約十數名村長及富
家ヲ奇襲セリト

又鹽村驛附近ノ農民言ニ依ルニ鹽村ニハ便衣隊
數名侵入セル模様アリ

三 即墨方面の情報

即墨ノ報告ニ依ルニ過般夏格左ニ於ケル邦人
慘殺匪團一団タル高澤灼(字五才)ノ清

0724

其次ハ如シ

彼ハ牛齋等ニ爲リ構ヘタルニ屢々、萊陽縣内
及時近リ抗日遊團ト連絡潜行シテ時々自
覺ニ立歸ル形跡アリテ當隊ハ近リ彼ヲ逮捕
シ遊團掃蕩ノ決意ニ供スルヲ定メ

段村(即墨東北方約一里許)附近ニ遊賊數十名
賭博開帳中ナリトノ報ニ接シ直ニ討伐隊
ヲ派遣ス其ノ情況尤ノ如シ

討伐隊到着ニ先キテ遊團ハ既ニ解散シ
逃走シアリシヲ以テ賊徒ノ父親(彈藥取扱
所持)ヲ舉動疑ハレ一名ヲ捕縛連行取調

中

押収者等尤ノ如シ

大銃ニ

0725

小銃

二八

拳銃

三

八坂來ニ際シ即墨北方約三村附近ニ於テ手榴
彈ニ青龍力ニテ携行セル土匪一名ヲ逮捕シ
目下調査中

三月二日

晴

於青島

一 午前七時五十分第二大隊ヨリ膠縣及即墨方面ノ
状況ニ関スル電話報告アリ

二 午後一時過旅團ヨリ内命ノ通り發令セラル師
團長ノ申告ハ午後四時トスル通報ヲ受テ直ニ
二本ノ傳達ス

三 師團參謀長午後一時三十分ヨリ小港山附近ニ於
テ實施セル第三中隊ノ分隊教練ヲ觀察ス
旅團副官及聯隊副官同行ス

0726

警備報告

四、明の旅團長及參謀長即墨附近警備状況ヲ視察スルニ付、之ヲ護衛シ、第一大隊ヨリ小銃輕機各三分隊ヲ午前八時迄ニ旅團司令部ニ戻ルヘク命ス

五、午後八時第二大隊ヨリ別紙ノ如ク報告ヲ無電ニ做リ受ケ

六、警備報告及情報記録左ノ如シ
敵第四號

警備報告

一、東警備隊ハ昨二十八日別紙要圖ノ如ク配備ヲ完了ス

二、即墨西北方約六十軒集鎮ニ約三、四ノ兵匪現ハレ同地附近ニ於テ馬糧ヲ蒐集中ノ民間自衛軍隊ヲ嚴密監視セリ

0727

情報記録

昭和一二
三月三日
青島の部隊不詳

一 平度方面情報 二月二十八日

1. 永島隊主力ハ二月二十八日午後三時平度に到着

2. 兗州ハ已ニ東北地方山地に退却シタリ

3. 中対隊ハ協力シ城内外掃蕩ヲ實施セリ

4. 二月二十四日朝來襲セル敵ハ平度中學校校長張金

明一率エル四五名ナリ

5. 蘭底迄ハ守衛隊會長葛正修ハ言ニ依リハ蘭底

西方四里余ハハ相當ニ逃散シタリ

6. 平度治安維持會長高明齊ハ言ニ依リハ平度

縣第一巡長李德九第六巡長馬俊奉及張

金洲等ヲ親自トタル逃散隊内各巡ニ相當ナル

模倣ナリ

修理
兵器
提
出

一 王台鎮方面ノ情報

二月二十七日午後一時桑原小隊到着ス

以王台鎮ハ城門四個アリ周圍巡察ニ約一時間ヲ要ス

三 藍村附近ノ情報

二月二十七日陳子明治安維持會長ナシテ親任ス

二月二十七日附近部落内ヨリ手榴彈三個ヲ押收ス

二 大砲兵器ヲ修理ニ要ス

大砲
修理
記

品名	目	具數	備考
九三式砲隊鏡	一		要
九三式歩兵砲車	一		
同照準具	一		

0729

同提捍	小油罐	漏斗	十米卷尺	小月巾スバヤ	遊子	遊端栓	軸臂板握把	仕上鉄	四一山砵車	板体	九式歩兵砵前車	同後車
一	二	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一
						新造						

九 記

一 即墨西北方約六十里村埠頭ニ約三、四名、各逃現
ハレ同地附近ニ於テ馬糧蒐集中、民間自動車
隊ヲ襲撃セリ

詳細ハ後刻報告ス

二 山東自治聯合部員約四〇名ニ十八日午前八時

膠縣ニ發日照ニ向テ前進セリ

三 第一聯隊中隊（平度警備隊）ハ一日夜正午

トタリニ依リ膠縣ニ到着ス

本二日午前八時強行軍ニ依リ諸城ニ向テ前進

スル予定自動車中隊ハ高密長野部隊本部

ニ歸還ス

一 午前八時十分無電ハ以テ第二大隊ヨリ九記報告

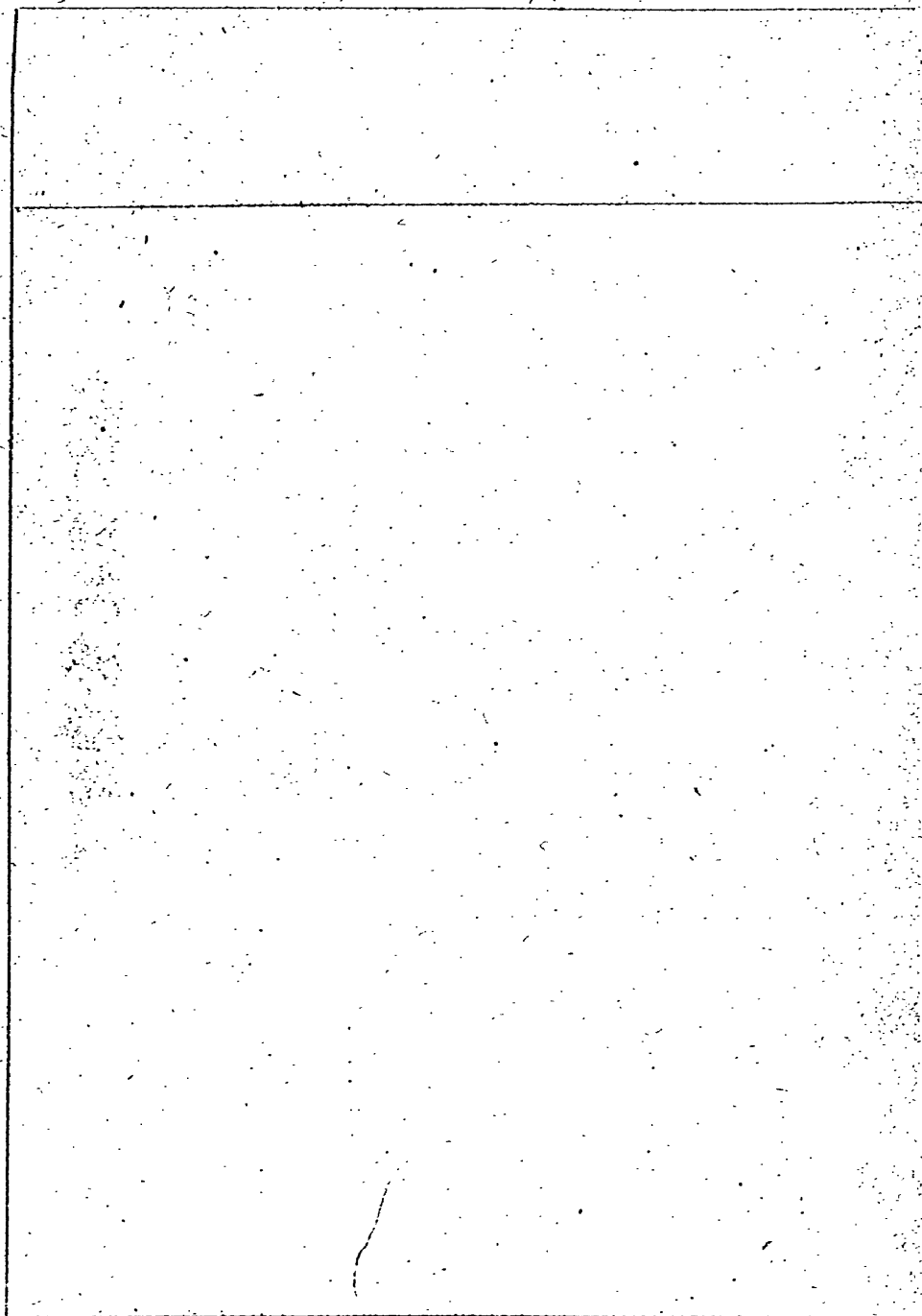
ヲ受ケ

0731

左記

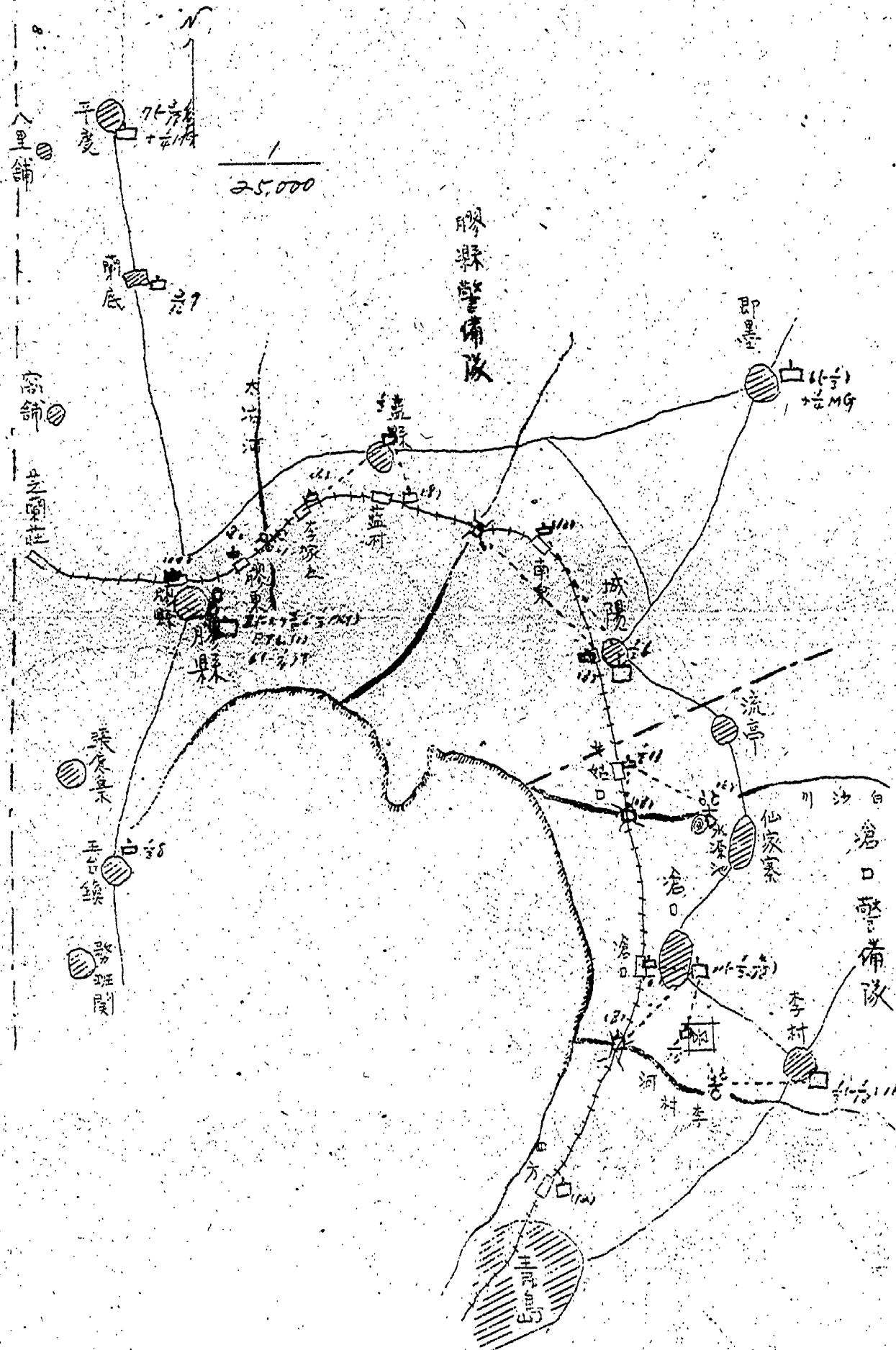
膠縣永安門西方一防空壕ヲ利用スル外部ニ
通ナル秘密路七個ヲ發見セリ
細部ハ書類ニ送ル

0732



0733

東警備隊配置要圖



三月三日

曇 雨

於青島

日々命令

一 旅團長及參謀長ハ即電ニ警備状況ヲ視察セラルレテ後

三時頃吳常ナリ歸還セラル 小林大尉同行人

一本日、第一大隊、美里セル列車警備兵、兵力ヲ小銃

輕機各一分隊ニ變更ス

三、午後三時警備ニ關スルハ四部隊、命令及金邊司

令官命令ヲ下達ス

同時日々命令及會報ヲ達ス

山田部隊命令

一 自今列車警備兵、兵力ハ小銃

輕機各一分隊ニ變更ス

二 明後四時上番ヨリ警備兵及金邊衛兵、兵名ニテ

知ル變更ス

國崎部隊本部警備衛兵

第三大隊

三月二日午後八時三十分
於青島部隊本部

0735

命令
命令

第四會場衛兵

第一大隊

三、警備衛兵射撃部隊及諸衛兵差を區分別表に如し
四、先記、者三月廿二番警備司令官直轄巡警隊長

命令

九記

部隊長

中北大尉
大和少尉
北村少尉
山田大佐

下達部 印刷交付

命令
命令

三月廿四日午後三時
於東京山田部隊本部

一、明四日以降九通り合營日直符授に服務人へし

四日上番(金)

四日坂大尉

外日

(子)

赤木大尉

0736

會

報

敘從二位

會

報

昭和三年二月一日

一 來ル五日ヨリ別紙、如ク陸軍専用慰安所ノ開設セラル

一 二月二十日ヨリ同月末日迄ノ間ニ於テ爾衛兵勤務

ノ良好ナルモノ別紙ノ如シ

一 各大隊（砲隊）ニ於テ保管シタル機秘密書類（暗號

書ヲ除ク）件名員數（一連番號ヲ有スルモノ）ヲ

記載（詳細）調査（表トナレタル後三月五日（但シ

第二大隊ハ三月六日）會報時提出セラレ度シ

尚各大隊及砲隊ニ於テ暗號書以下ノ機秘密書

類ノ保管原簿ヲ作製セラレ度

（既ニ作製済ノ所ハ此限リニ非ス）

一 陣中義談ハ月令其都度（部提出セラル）

0738

警備報告

四 本日、警備報告並情報元如シ

警備四一號

警備報告

一 膠縣東南方約三里太泊川附近、村民ハ我ニ好意
ヲ有セ、三月三日第六大隊長ハ輜重兵隊長ノ指揮
スル東島隊ヲ編成シ搜索並ニ宣撫ヲ行ハシム
二 青島市内ニ派遣シタル密偵、言ニ依リハ諸城方
面ヨリ避難民一部市内ニ入リ、又青島停車
場附近ニ在リ、道宣傳ヲ行フ不良分子アルモ
イ如シ

更に調査ヲ行ハス

情報

五

情報第一號

情報記録

一 膠縣地方ノ情報

三月三日午後一時
青島山形部隊本部

0739

二村ニ夜夜隊侵入セリト

三 即墨方面ノ情報

一 二十六日情報中、城外ニ於ケル武番携帶ノ兵民ハ
取調ノ結果大新村（即墨東隣）在住ノ兵民ニ
テ最近彼親族強盗ニ襲レタルヲ以テ其後毎夜
夜警援助ニ行キ居リシニテ全クノ兵民ヨリ
携帶ノ手榴彈ハ當地ニ留置セシ支那兵ノモノヲ
收拾セシモノシテ強盗威嚇ノタメ使用セシモノナ
リ同村ヨリ押収兵器如レ
小銃一 拳銃二 槍二
又 三十七日約八十名匪團院前ノ嶺（嶺山西北方約三
科）ニ東村セリト情報ニ依リ速ニ討伐隊ヲ派遣
シ是等匪團ヲ即墨村外ニ現惑ス
押収兵器如レ

0741

三銃 三銃 三
 高附山、土民ノ言ニ依リハ、夏格庄附近ニ、塔居ル所
 園ハ、屢々即墨跡ニ侵入シ、道路橋梁ノ破壊
 村民ニ強要スルト

0742

二月二十五日以降衛兵服務一覽表

番月日	區	分	衛兵(司令)	服 務 状 況
二二五	第	三	藤井伍長	服務確實ニシテ良好ナリ
同	第	四	水ノ上伍長	服務熱心ニシテ良好ナリ
同	第	二	木原伍長	緊張シアリ其ノ態度嚴正ニシテ 服務良好ナリ
二二六	第	二	久保伍長	熱心且緊張服務シアリ地ノ模範ナリ
同	第	四	平本伍長	態度嚴正ニシテ部下ノ掌握確實
同	聯隊本部		高延皇義	態度嚴正服務良好特ニ誰何ノ動作可ナリ
二二七	同		小川伍長	態度嚴正服務計畫周到ニシテ可ナリ
同	第	二	村山峰伍長	同 右
同	第	四	坂山進	立哨中態度嚴正且緊張シアリ可ナリ
同	第	三	門田善兵衛	地物ノ利用特ニ誰何ノ動作可ナリ

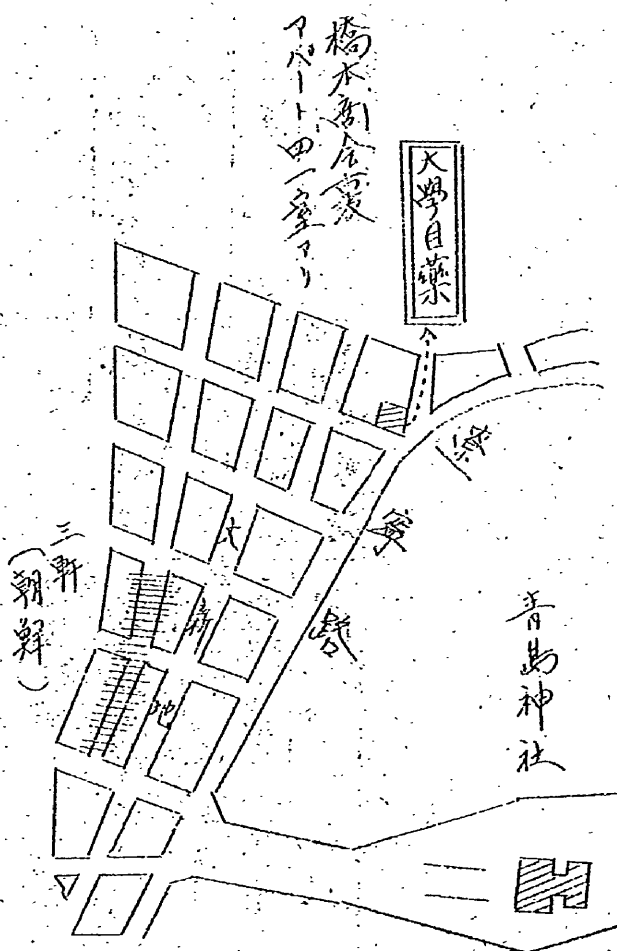
0744

同	同	同	同	同	同	ニ ニ 八	同
同	第 四	聯隊本部	第 三	第 二	第 一	新町警備隊	聯隊本部
高田延昭	井上利二	岡田仙長	荒木工孝	西部工孝	金田長以下		荒木一孝
同	服務嚴正確實ニシテ良好ナリ	熱心確實ニ服務シ態度嚴正ナリ	服務計畫周到ニシテ良好ナリ	熱心ニ服務シ下部ノ掌握確實ニシテ可ナリ	緊張服務シ下部ノ掌握確實ニシテ可ナリ	熱心ニ服務シ下部ノ掌握確實ニシテ可ナリ	予則、記憶理解良好服裝態度亦可

0745

別紙

三月五日開業
午前八時より
午後八時迄



0746

三月四日
曇雨
於青島

一 午前九時ヨリ市立女子中學校附近ヨリ實施第一
中隊兵匪討伐演習ヲ參謀長視察ノ予定ナリシニ
都合ニ依リ中止セラル

二 午前十時旅團司令部ヨリ電話ニ依リ高松ニ一
大隊ヲ派遣シ該地ニ在ル第一聯隊ト交代スヘキ命
ヲ受テ直ニ第一大隊ニ要旨ヲ命令ス

三 午前十一時聯隊長及高級副官旅團司令部ニ至リ
命令ヲ受領ス

四 第一大隊ヲ高松ニ派遣スルヲ以テ同隊ノ擔任セル諸
勤務ヲ花ノ如ク變更ス

1. 大港小港碼頭ノ警備衛兵ヲ 第三大隊ニ
2. 太平山上海銀行ノ射撃部隊ヲ 第三大隊ニ
3. 部隊本部第四舍警衛兵ヲ 第三大隊ニ
4. 警備兵ヲ 第三大隊ニ

0747

勤務交代

- 一 板垣部隊本部 西尾部隊本部 第三大隊
尚第三大隊より派遣セル大港射撃部隊及洲候所
射撃部隊並第一大隊より荒公セル第一第三倉
衛兵野戰郵便局業務援助ヲ撤去ス
- 二 午後三時頃聯隊本部及聯隊砲連射砲ニシテ第
一大隊ヲ引續キ高岩ニ移動スヘキ内命ヲ受テ去發
準備中 午後五時更ニ其去發ハ當分取メナリ變
更命令來ル
- 三 倉部日直將校田坂大尉ヲ水木大尉ニ變更更ニ巡察
將校一名ヲ第三大隊ヨリ荒公セル
- 四 第一大隊ノ擔任セル衛兵及諸勤務ノ交代ハ午後五
時之ヲ完了ス
- 五 第一大隊砲小隊長藤井中尉ハ明日ヨリ師團司令
部ニ於テ勤務スヘキ内命ニ聯隊砲山上准尉ヲシ

0748

日々命令

第一大隊砲小隊長、職務ヲ執ラシム
列車警衆兵ヲ小銃二分隊、外ニ輕機一隊ヲ増加ス
左、日々命令ヲ下達ス

日々命令

第一中隊陸軍歩兵上等兵

久田見正人

任陸軍歩兵伍長

昭和十二年三月一日附

第二中隊陸軍歩兵上等兵

井場正人

二年度下士官候補者ヲ命ス

昭和十二年三月一日附

第三中隊陸軍歩兵上等兵

井場正人

任陸軍歩兵伍長

昭和十二年三月一日附

午後六時ヨリ青島居住將校團有志ニ依リ森永少佐

送別宴ヲ催ス

警備報告

本日、警備報告左、如シ

警備第四號

0749

警備報告

一 倉口警備隊報告ニ依ルハ

1. 倉口飛行場北方及東南方部迄ニハ武器弾藥ハ

有セザルモ不良分子アリ 飛行場ニテ作業中ナル者

カニ傷害ヲ加ヘタルモノアリ

2. 三月二日午前零時半沙嶺駐橋梁ニ近接シ橋

脚ヲ攀登セシトスルモノニ見アリ 歩哨之ヲ射撃斃シ置

ス

3. 雨ニ一時間後ニ為來ルモ同様撃退ス

3. 三月二日午後十一時半頃女姑口驛北方約二〇〇米

ノ電話線切断セラル 犯人搜索中

一 午前七時三十分小林大尉ハ第一大隊副官ト共ニ高松

ニ先行ス

三月五日
晴

0750

於青島

命令

同時并野部隊ニ轉任ノ森永ヲ佐トシ發人
次ヲ午前九時第一大隊主力ハ軍用列車ニ依リ青島
發高密ニ向テ前進ス

ニ東地區警備隊ハ長野部隊長ノ指揮スル歩兵約
二大隊ヲ沂州附近ニ急派シ坂本支隊長ノ指揮ニ入ラシム
ト東地區警備隊命令タ受領シ次ヲ凡ノ東地區警備
隊命令タ下達ス

山作命令第八號

東地區警備隊命令

三月四日午後四時
於青島山東部隊本部

一坂本支隊長當面ノ敵ハ第三九師海軍陸戰隊（長
屬文禮）ナリ

同支隊ハ本日湯鎮鎮ヲ占領セリ

東地區警備隊ハ長野部隊長ノ指揮スル歩兵約
二大隊ヲ沂州附近ニ急派シ坂本支隊長ノ指揮ニ入

フシノヲル

高師團野砲兵第五聯隊（三大隊）衛生隊三分の一
第一野戰病院（第二半部）及第二渡河材料中
隊（一部ヲ計州附近ニ急進セシムル

一 東警備隊ハ明日ヨリ一部ヲ以テ西敵警備隊ノ主
カト其守備ヲ交代セントス

二 第一天隊ハ明日鐵道ニ依リ高松ニ前進シ先
芝蘭五太泊支隊、鐵道警備隊、諸城、葛野
守備ヲ長野部隊ト交代シ其擔任地域内ノ掃
蕩至坂本支隊ノ後方連絡確保ニ任スヘシ

在日照步兵第五聯隊第一中隊ヲ其指揮ニ
屬セラル

鐵道輸送ニ關シテハ停車場司令部ニ直接協
定スヘシ

0752

四 東警備隊、植田大隊、一、警備地域、境界、
如シ

楊家庄、大泊庄、景芝鎮、石埠子、條友安庄、
浮來山、及葛碑、日照ヲ連ナル線トス、高碑、日照ヲ
含ミ線トハ西及北ミ含ム

山澤大隊、林田大隊、一、警備地域、境界、ハ前
命令、東、西警備隊、境界ニ同シ

五 第三大隊（一中隊、二及聯隊砲、速射砲中隊、依
然、青島ニ位置シ之ヲ警備ヲ擔任スヘシ）

細部ニ關シテハ別ニ示ス

六 予ハ依然、青島ニ在リ

東警備隊長 山田大佐

下達法

要旨ヲテ速ニ後印別文付

0753

命令
警備隊

三午後三時第一大隊出發に伴い各勤務隊變更ニ
關スル東警備隊命令今ヲ下達ス

東警備隊命令

三月四日午後四時
於青島山東部隊本部

一第三大隊ヨリ南金嶺區勤務員トシテ本日午後
六時迄ニ及ハ人ヨリ免ル第一大隊ヨリ本スルニ
ト其勤務ヲ交代服務セシムヘシ

金嶺日直特校

巡察特校

二豊島准尉ハ明日ヨリ番警備司令官直轄巡察
隊長トシテ服務スヘシ

四第一大隊ハ午後二時三十分爲密ニ到着シ長野部
隊ヨリ警備ノ申渡リヲ受ク(午後三時同隊ヨリ
電話報告アリ)

五本日より番ヨリ警備司令官直轄巡察隊長一名ヲ免

0754

警備報告
日々命令

出入事ニ變更セラル

六、藤井中尉ハ本日ヨリ第五師團司令部ニ於テ勤務ス

ス

七、高松状況視察ノ為出發セシ小林大尉ハ午後十一

時三十分歸還ス

八、金島日直將校 金子中尉

警備報告並ニ日々命令凡ソ如シ

警言第四三號

警 備 報 告

一、三月四日第三大隊、報告ニ依リハ

一、姚家屯(膠縣西南方五里附近)抗日分子アリ

膠縣ヲ攻撃スルノ意図アリ

一、第三大隊長ハ明五日第五中隊長ニ一中隊ヲ指揮ス

シ、藍村ニ行カシム

0755

日々命令

別紙要圖參照

日々命令

三月五日

一陸軍歩兵中尉

藤井正雄

三月五日ヨリ當令、間第五師團司令部ニ於テ勤

務スヘシ

一第北中隊陸軍歩兵上等兵 財満義春

第三歩兵砲小隊同 川崎多子

當令、間聯隊本部ニ於テ勤務スヘシ

一板垣部隊本部ヨリ馬込十頭補免ヲ受リ

獣醫
兵器

一五記押収兵器ヲ提ス

品目 員数

音龍刀 一〇七

刺刀 九

槍 三六

0756

東地區隊
命令

小銃 四九〇
短銃 四三
三友記兵器ヲ修理ニ提ス

品	目	員	数
九一式歩兵砲轆木	右	左	二二
九一式電話機地棒			二
同	握把		一

國崎命令第三九號

東地區整備隊命令

坂本支隊當面ノ敵ハ第三九師 海軍陸戰隊(長属

又禮ヤリ

同支隊ハ本日湯頭鎮ヲ占領セリ

師團ハ坂本支隊ニ所要ノ兵力ヲ増加ス

之ヲ長野部隊ノ主力野砲兵第五聯隊(三大隊

0757

二 衛生隊三分一（第一野戰病院（第一半部）及第一
 二材料中隊一部）沂州附近ニ急進セシメラル
 二 東地區警備隊ハ聯隊長ノ指揮スル歩兵約ニ大隊
 ノ沂州附近ニ急進シ坂本支隊長ノ指揮ニ入ラシム
 ル爲敬告備地區ノ變更ヲ要員施セントス
 三 東警備隊ハ明日ヨリ逐次西地區隊ノ主力ト其
 予備ヲ交代シ新配置ニ就キ其ノ擔任地域内掃
 蕩並坂本支隊ノ後方連絡確保ニ任セラル
 之ヲ爲歩兵約一大隊ヲ明日鐵道ニ依リ高密ニ派
 遣シ先ツ芝蘭並大泊莊間ノ鐵道警備並ニ諸城
 並豫ノ予備ヲ長野部隊ト交代セシムヘシ又茲日昭
 歩兵第一聯隊第一中隊ヲ其指揮ニ屬セシム
 鐵道輸送ニ關シテハ停車場司令部ト直接協
 定スル

0758

四、長野部隊長ハ成ル可ク速ニ歩兵約ニ大隊ヲ以テ
 汴州ニ前進シ坂本支隊長ノ指揮ニ入ルヘシ
 之カ為明五日午前高密附近ニ到着スル山田部隊
 十人泊成以東至蘭庭間ノ鐵道警備並ニ諸城
 諸縣(日照ヲ除ク)ノ守備ヲ交代シ且安卯景ケ
 鎮ノ守備隊ヲ撤去スヘシ
 野砲兵ノ汴州急進ノ掩護トシテ歩兵約一中隊ヲ高
 密ニ設置シ野砲兵第五聯隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ
 汴州急行ノ為配屬自動車中隊並ニ坂本支隊配
 屬ノ自動車隊ヲ使用スルモノトス
 又配屬自動車中隊ヨリ一分隊ヲ輛(一)本四日青島
 ニ派遣シ第十六師團第一渡河材料中隊ヨリ渡
 河材料ヲ受領シ在湯頭鎮附近坂本支隊長ノ
 下ニ急送セシテ輸送途中ノ掩護ニ任スヘシ

0759

五、配属、衛生隊三分の一、前進準備ヲ整ヘシメ高
密ニ於テ衛生隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ
六、植田大隊（中隊欠）ハ長野大坂高松出發ヨリ予
直轄トス

依然前任務ヲ續行スヘシ

七、警備地區ノ境界互ニ如シ線ノハ西及北ニ含ム

山田部隊揚泉安大泊庄景芝鎮石半子徐庄
植田大隊安庄浮來山及葛縣日照ヲ連スル線

（葛縣、日照ヲ含ム）

西地區（前命令ノ同シ）

八、長野部隊ハ第一野戦病院（第二車部隊）ノ膠州ヨリ

葛縣ヲ經テ沂州ニ向テ前進間其掩護ニ任スヘシ

細部ハ該部隊ヲテ直接連絡セシム

九、予ハ依然青島ニ在リ

0760

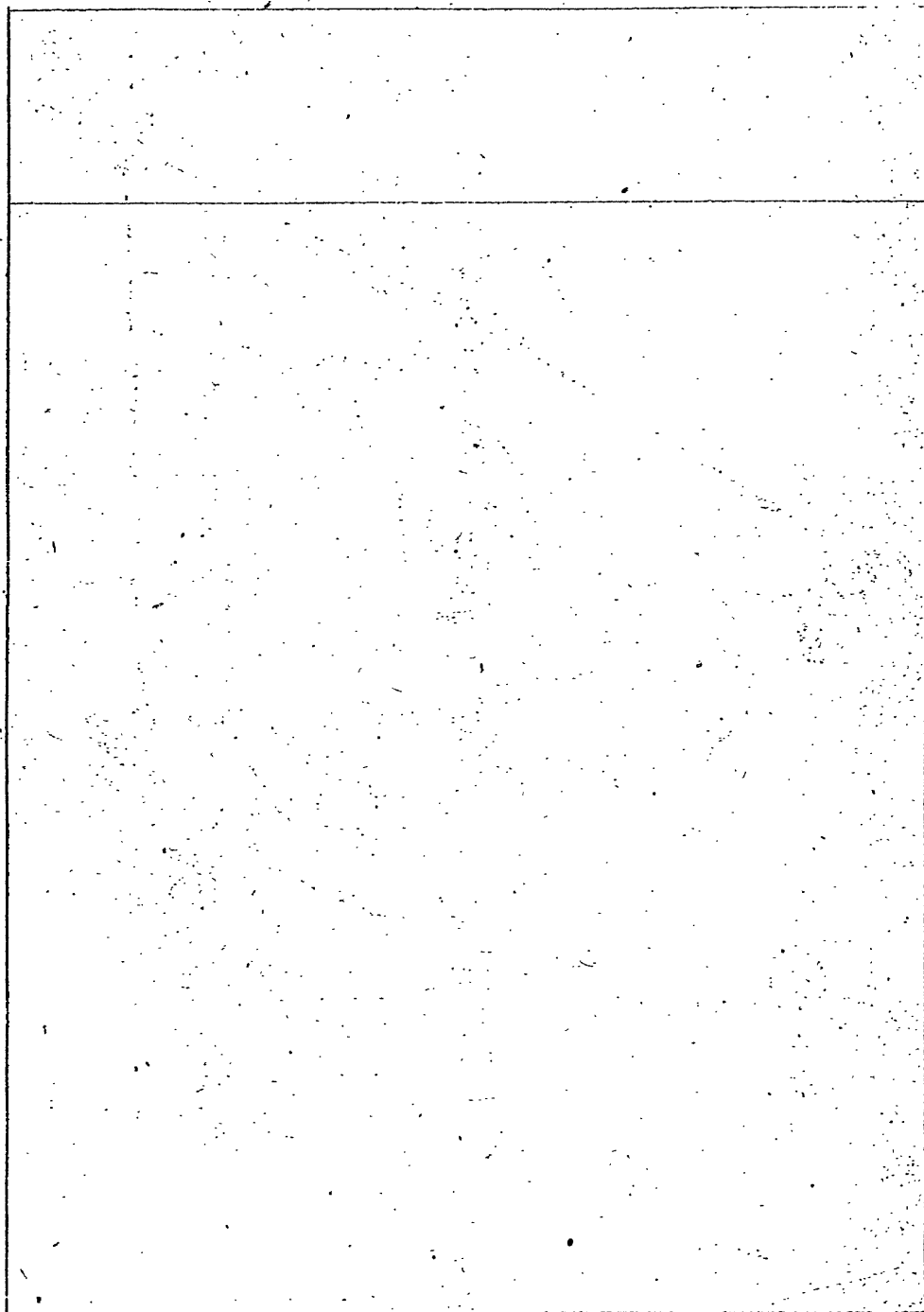
東地区警備隊司令官 國崎少將

下達

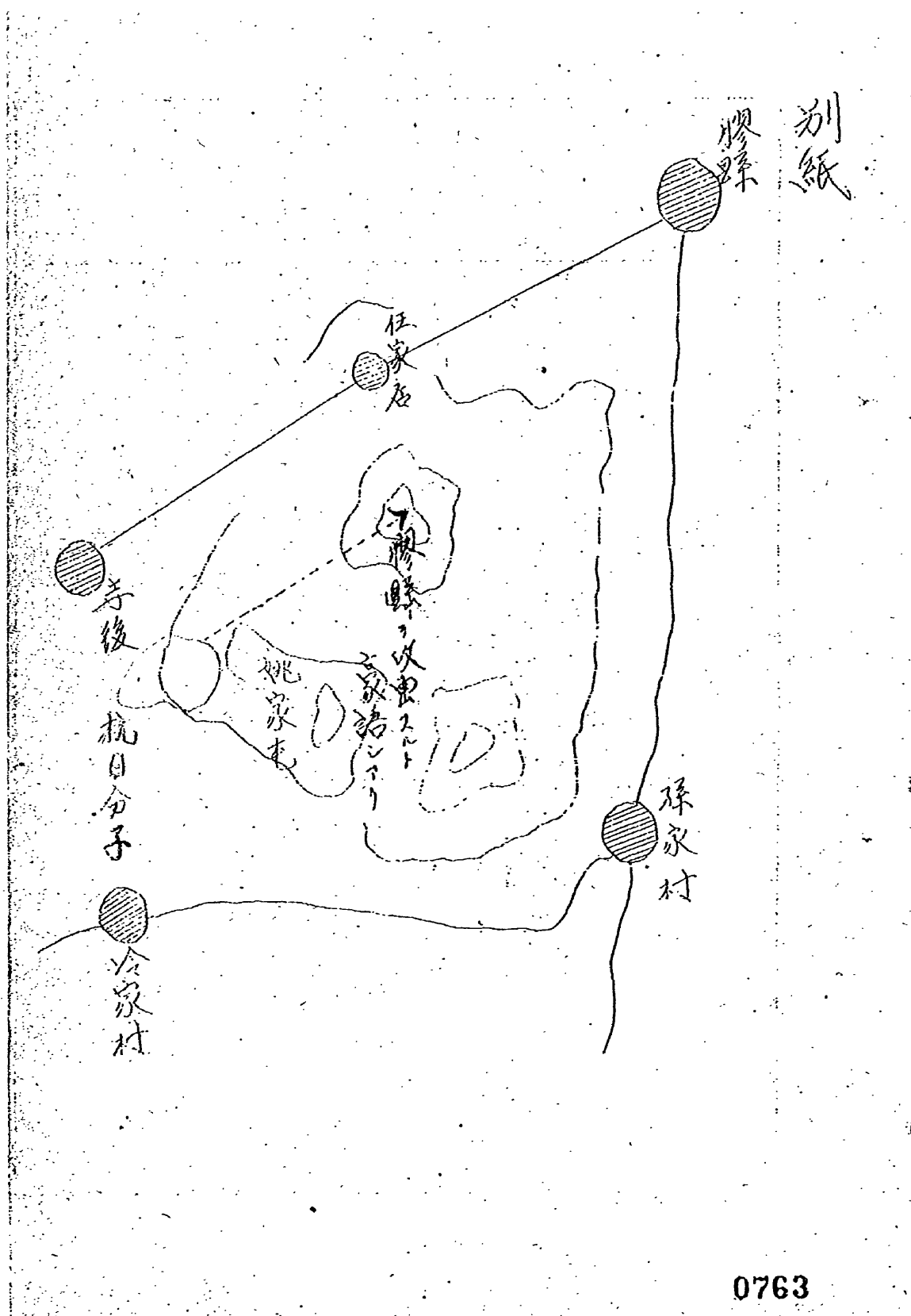
第一聯隊ニ電報第四十聯隊ニ部隊長ニ直接
口達後印刷交付

共

0761



0762



0763

二月六日
魯
於青島
東警備隊
命令

一 第二大隊ハ本拂曉ヨリ姚家村ヲ討伐ヲ行ハリ

二 午前十時頃配屬部隊配屬替ニ關スル東地區警備
隊命令並ニ倉島地區撤去ノ命令ヲ受領シ左ノ警備
部隊命令並ニ山田部隊命令ヲ下達ス

山田命令第六三號

東警備隊命令

三月五日午後三時〇分
於青島山田部隊本部

一 西警備隊ヨリ左記部隊ヲ東警備隊ニ配屬スルヲ命

セラル

依テ左ノ如ク配屬ス

第一大隊

工兵一小隊

衛生隊三分一

又砲自動車第五十一中隊（一分隊既

輜重兵第三中隊（一小隊欠）

第二大隊

又砲自動車第五十一中隊（一分隊既

ナリ

0764

輜重兵第三中隊、八小隊

一、之配属時期及輸送問題ニ就テハ直接各隊長於
ヲ協定スル

三、左記箇所、衛兵ヲ撤去スル

板垣部隊本部

三月六日 午後二時

青島神社

三月七日 正午以後

其細部ハ別ニ示セル通り

四、自今青島市ニ於ケル金島地区及金島司令官ヲ

撤去スル

五、東地区内、警備兵ノ交代ヲ左記ノ如ク變更セラル

東警備隊

間

上リ

炸

山

驛

植田大隊

間

下リ

天

領

驛

東警備隊長

山田大佐

下達法 電話後印刷交付

0765

聯隊命令

山作命第六三號

山田部隊命令

三月五日午後三時
於青島山田部隊本部

一 青島ニ於ケル金營地區及金營司令官ヲ撤去セラル
ニ 若駒兵營宿營部隊ハ第三大隊長ニ於テ 青島
市立中學校兵營宿營部隊ハ先任隊長之ヲ退署
シ部隊日直將校及部隊衛兵ヲ配置シ其ノ兵營
内ノ直接警戒ニ任セラルヘシ
三 聯隊本部部隊衛兵ノ兵力ヲ大ニ如ク變更ス

司令 一

兵 二

兵 一〇(喇叭手一ヲ含ム)

明方上番ヲ服務スヘシ

部隊長

山田大佐

下達法 印刷文付

0766

會
報

會
報

三月六日

一 巡察用トシテサイドカーノ配屬ヲ受ケタルニ付巡察
將校ハ聯隊本部ニ申込ミ利用セラル度

一 勤務者巡察ニ方リ軍風紀ニ著意スル外不逞
支那人ニ對シテモ注意スヘシ

三 午後三時第二大隊ヨリ友ノ報告ヲ受ケ

「本日午後二時十分膠州上空ニ敵ノ飛行機ランタニ
西北方ヨリ飛来シ東進セリ」

依テ直ニニ警備司令官ニ報告シ警告戒ヲ嚴ニシタル
モ異常ヲ認メス

第一大隊長ヨリ友ノ報告ヲ受ケ

報
告(第一號)

一 林田部隊ハ長野部隊ト別紙要圖ノ如ク警告戒ヲ

交代セリ

林田部隊
報
告

0767

敵情ニ關シテハ新報ヲ得テ目下間諜等ニシテ
調査中ナリ

諸城(第一中隊機關銃一、小隊軍醫一トス)一
ヲ付ス。葛原(第三中隊機關銃一、小隊ヲ付ス)
警備隊ハ本支日午前九時高松ヲ出發セシム
輜重(小隊及大行李ヲ以テ荷物材料等ヲ運搬
シヤシム

四、諸城ニ種々集積所ヲ葛原且照部隊ニ對スル
糧秣補給ハ葛原大尉ヲ任シ担仕セシム(在諸城
輜重兵中隊(一小隊)ヲ區署ニ)

五、本日迄安維持會ヲ進士官以上招待セラレアリ
宣撫工作並ニ情報蒐集等ノ機密費必要ハ

付金五圓支給セラレ度シ

諸城葛原部隊ハ糧秣費トシテ前渡金中ヨリ之

0768

警備報告

五

本日、警備報告及情報友、如シ

警第五四號

敬告 備 報告

一 本六日拂曉ヲ期シ昨五日報告リ姚家屯（膠州
西南方約十四軒）附近ニ在リテ膠州ヲ籠索敵ヲセ
シト豪語セル五匪ヲ南北ヨリ各一小隊ヲ以テ攻撃
ス（第三大隊無線報告）

二 李村警備隊ハ李村區鎮長ト協力シ李村區
各村ヨリ在リ兵器ヲ押收セリ

0769